

津 市 監 第 3 4 号
令和 5 年 1 0 月 2 3 日

津市長 前 葉 泰 幸 様

津市監査委員 小 津 直 久
津市監査委員 安 藤 友 昭
津市監査委員 安 井 広 伸
津市監査委員 岩 脇 圭 一

令和 4 年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について（提出）

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 3 3 条第 2 項の規定に基づき審査に付された下記の令和 4 年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見を津市監査基準（令和 2 年津市監査委員告示第 3 号）に基づいて審査したので、別添のとおり意見を提出します。

記

- 1 令和 4 年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 2 令和 4 年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 3 令和 4 年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見

令和 4 年 度

榑 原 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和4年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和4年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和5年8月31日から10月20日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は2,520万6千円（表1参照）、歳出決算額は2,339万8千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、財産収入2,241万2千円である。

表1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和4年度				令和3年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	22,360	22,412	88.9	100.2	22,488	87.8	△76	△0.3
繰入金	0	0	0.0	0.0	1,375	5.4	△1,375	△100.0
繰越金	2,617	2,785	11.0	106.4	1,748	6.8	1,037	59.3
諸収入	2	9	0.0	450.0	3	0.0	6	200.0
計	24,979	25,206	100.0	100.9	25,613	100.0	△407	△1.6

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、財産費 2,009 万円、議会費 166 万 2 千円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和4年度				令和3年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	1,763	1,662	7.1	94.3	1,717	7.5	△ 55	△ 3.2
総 務 費	898	365	1.6	40.6	308	1.3	57	18.5
財 産 費	20,652	20,090	85.9	97.3	19,486	85.4	604	3.1
積 立 金	881	881	3.8	100.0	718	3.1	163	22.7
諸 支 出 金	700	399	1.7	57.0	601	2.6	△ 202	△ 33.6
予 備 費	85	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	24,979	23,398	100.0	93.7	22,829	100.0	569	2.5

2 財産に関する調書

財産の令和 4 年度中の増減高及び令和 4 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 4 年度末現在高は 1,226 万 4,018 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 4 年度中に 2,077 立方メートル増加し、令和 4 年度末現在高は 13 万 3,952 立方メートルである。

出資による権利については、令和 4 年度中の増減はなく、令和 4 年度末現在高は 84 万円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和 3 年度末現在高	令和 4 年度中増減高	令和 4 年度末現在高
土 地	公共用財産(その他の施設)	m ²	918	0	918
	山 林	直 営	2,010,886	0	2,010,886
		貸 付	10,252,213	0	10,252,213
	合 計	m ²	12,264,018	0	12,264,018
立 木 の 推 定 蓄 積 量		m ³	131,875	2,077	133,952
出 資 に よ る 権 利		千円	840	0	840

(2) 物 品

物品は軽貨物自動車で、表 4 のとおり令和 4 年度中に増減はなく、令和 4 年度末現在高は 2 台である。

表 4 物品の状況

(単位：台)

区 分	令和3年度末現在高	令和4年度中増減高	令和4年度末現在高
軽 貨 物 自 動 車	2	0	2

(3) 基 金

基金は榊原財産区財政調整基金で、表 5 のとおり令和 4 年度中に 88 万 1 千円増加し、令和 4 年度末現在高は 3,636 万 8 千円である。

表 5 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和3年度末現在高	令和4年度中増減高	令和4年度末現在高
榊 原 財 産 区 財 政 調 整 基 金	35,487	881	36,368

3 まとめ

令和 4 年度決算の状況を見ると、安定した土地貸付収入の範囲内で必要経費を賄うとともに、財政調整基金残高も増加しており、持続可能な財政運営を堅持している。

引き続き、計画的な森林区画の確認、林道整備等を進めるなど、森林資源の適正な管理に努められたい。

令和 4 年 度

河 内 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和4年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和4年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和5年8月31日から10月20日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は24万9千円（表1参照）、歳出決算額は22万2千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額は、繰入金18万8千円、繰越金6万1千円である。

表1 歳入内訳表

(単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和4年度				令和3年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰入金	188	188	75.5	100.0	185	66.5	3	1.6
繰越金	80	61	24.5	76.3	93	33.5	△32	△34.4
諸収入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	270	249	100.0	92.2	278	100.0	△29	△10.4

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、議会費 20 万 3 千円、財産費 1 万 7 千円である。

表 2 歳出内訳表 (単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和4年度				令和3年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	208	203	91.4	97.6	199	91.7	4	2.0
総 務 費	20	2	0.9	10.0	2	0.9	0	0.0
財 産 費	31	17	7.7	54.8	17	7.8	0	0.0
基金積立金	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
予 備 費	10	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	270	222	100.0	82.2	217	100.0	5	2.3

2 財産に関する調書

財産の令和 4 年度中の増減高及び令和 4 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、令和 4 年度末現在高は、土地が 13 万 278 平方メートル、建物が木造 1 棟 63 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 4 年度中に 348 立方メートル増加し、令和 4 年度末現在高は 2 万 4,495 立方メートルである。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和3年度末現在高	令和4年度中増減高	令和4年度末現在高
土地	山 林	m ²	130,278	0	130,278
建物	河 内 公 民 館	m ²	63	0	63
立 木 の 推 定 蓄 積 量		m ³	24,147	348	24,495

(2) 基 金

基金は河内財産区財政調整基金で、表 4 のとおり令和 4 年度中に 18 万 8 千円減少し、令和 4 年度末現在高は 336 万 2 円である。

表 4 基金の状況 (単位：千円)

区 分	令和3年度末現在高	令和4年度中増減高	令和4年度末現在高
河内財産区財政調整基金	3,550	△ 188	3,362

3 まとめ

令和 4 年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の 75.5 パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。

令和 4 年 度

波 瀬 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和4年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和4年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和5年8月31日から10月20日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は63万8千円（表1参照）、歳出決算額は60万2千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、繰入金47万円、財産収入15万5千円である。

表1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和4年度				令和3年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	143	155	24.3	108.4	143	23.1	12	8.4
繰入金	549	470	73.7	85.6	400	64.5	70	17.5
繰越金	22	13	2.0	59.1	77	12.4	△64	△83.1
諸収入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	715	638	100.0	89.2	620	100.0	18	2.9

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額は、議会費 48 万 5 千円、総務費 11 万 7 千円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和4年度				令和3年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	536	485	80.6	90.5	494	81.4	△ 9	△ 1.8
総 務 費	129	117	19.4	90.7	113	18.6	4	3.5
予 備 費	50	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	715	602	100.0	84.2	607	100.0	△ 5	△ 0.8

2 財産に関する調書

財産の令和 4 年度中の増減高及び令和 4 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 4 年度末現在高は 100 万 9,635 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 4 年度中に 1,968 立方メートル増加し、令和 4 年度末現在高は 13 万 4,387 立方メートルである。

出資による権利については、増減はなく、令和 4 年度末現在高は 58 万 6 千円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和 3 年度末現在高	令和 4 年度中増減高	令和 4 年度末現在高
土 地	宅 地	m ²	1,208	0	1,208
	雑 種 地 ・ 原 野	m ²	887	0	887
	山 林	直 営	1,006,356	0	1,006,356
		貸 付	1,184	0	1,184
	合 計		1,009,635	0	1,009,635
立 木 の 推 定 蓄 積 量		m ³	132,419	1,968	134,387
出 資 に よ る 権 利		千円	586	0	586

(2) 基 金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表 4 のとおりで、令和 4 年度中に 46 万 4 千円減少し、令和 4 年度末現在高は 1,143 万 3 千円である。

表 4 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和3年度末現在高	令和4年度中増減高	令和4年度末現在高
波瀬財産区財政調整基金	11,897	△ 464	11,433

3 まとめ

令和4年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の73.7パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。